

第2回行政委員の報酬のあり方検討委員会

== 議事要旨 ==

1 日 時 平成22年10月4日(月) 13:00~15:00

2 場 所 三光荘パブリゾン2・3

3 出席者

(委員) 6名 ※50音順、1名欠席

小川委員、梶原委員、清水委員、多田委員、広瀬委員、武藤委員

(事務局) 7名

小川総務部長、桐野人事課長、高田人事課副課長、後藤給与班長ほか

4 議事要旨

(1) 前回以降の他県の見直し状況について

- ・資料1により事務局より説明

(2) 前回の振り返り等

- ・資料2により委員長より説明
- ・質疑応答

(3) 各行政委員会からのヒアリング

- ・資料3により、すべての行政委員会からのヒアリング
- ・質疑応答

(4) 意見交換

- ・ヒアリング結果や別添の参考資料をもとに意見交換
- ・意見交換

[主なもの]

- 月額支給は勤務日数に比べて高額との意見もあり、県民の理解が得られない。
- 地方自治法にも日額と明記されているため、原則日額化を打ち出す必要があると思う。
- ヒアリングを受けて、数字には出てこないが、事前に資料を読み込むなどの作業時間があると感じた。
- 目に見えない定量化できない業務を月額で補完するという考えもあるのではないか。
- 収入が目的ではなく、ボランティア精神で引き受けておられる方も多いと思われ、極端なことを言えば無報酬という考え方もある。額を下げることについては問題ないと思う。

※意見交換を通じて、委員会として以下の方向で今後議論を進めていくことに。
「原則日額とし、活動実態によって日額のみでは評価しきれない場合には、月額で補完する」

(5) 次回開催について

- ・上記方針に基づいた報告書のたたき台を次回までに作成
(月額で補完する委員会の線引きや水準のあり方を含めて)
- ・最終回の次回は、12月中下旬に開催を予定